

1 開催日時・場所

令和7年6月26日(木) 13:30~15:30

関東森林管理局 東京事務所 会議室

2 議題

(1) 木材の需給動向について

(2) 国有林材の供給調整について

3 検討結果

原木の出材量は例年どおりである。製材所の原木不足はある程度解消されており、原木価格は下落傾向である。

国産材製品については、輸入材の入荷減等の影響もあり、間柱などの羽柄材が若干の値上げ傾向にあるが、構造材の価格は上がらない状況となっている。

今後については、虫害懸念もあり、例年どおり出材量の減少、価格の下落が見込まれるが、建築基準法改正の影響の不透明感もあり、情勢を注視する必要がある。

以上のことから、現時点では国有林材の供給調整は不要と判断される。国有林においては、各地域の状況を踏まえた的確な供給に取り組むとともに、供給調整が必要となった場合に備え、地域の実情に即して機動的に対応策が打てるよう引き続き検討をお願いする。

4 主な情報、意見

○ 静岡県では原木は不足している状況。製品については構造材の荷動きは悪いが、板類は好調である。合板とバイオマス用材の値段が高く、下支えとなっている。

○ 茨城県では4月以降、共販所への入荷量は昨年比1.2倍から1.6倍と多かった。原木は需給バランスが保たれており、価格は安定している。

○ 春先に原木が順調に出荷され始め値段も値下がりしたが、最近また少し価格が上がっている。以前より虫害時期が長くなっているため、製材所は当用買いを徹底しているようで、原木を在庫する感覚がなくなっている。

○ 合板メーカーではカラマツに品薄感があるが、荷動きは順調。建築基準法改正による確認申請の遅れが市況に影響する懸念がある。

○ 栃木県での原木の荷動きは順調だが、最近は値段が上がっている状況。苗木の不足感が出てきており、冬に向けて皆伐作業に支障が出る懸念がある。

○ 群馬県では、梅雨に入り原木の供給量は減っているが、製材所の原木在庫も少なく、原木価格は弱保合で動いている。

○ 福島県浜通りの共販所での原木販売量は、昨年とほぼ同じ状況。これから3か月は虫害の影響が出るので、集材は少なめになる見通し。

- 茨城県では原木生産が例年より遅くまで行われていた印象。製品価格は安定している。
- 茨城県では建築基準法改正の影響で駆け込み需要があったが、大きくはなかった。スギ間柱等は欧州材の入荷減の影響で値上がり傾向となっている。
- トランプ政権による関税措置や中国の木材輸出の停滞などの影響を注視する必要がある。

令和7年度

第1回

関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会

日 時：令和7年6月26日（木）

13：30～15：30（予定）

場 所：関東森林管理局 東京事務所 会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

（1）木材の需給動向について

（2）国有林材の供給調整について

（3）その他

3 閉 会

令和7年度 第1回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 出席者名簿

日時:6月26日(木)13:30~15:30

場所:関東森林管理局 東京事務所会議室

○委員

(五十音順・敬称略)

所 属 ・ 役 職 名	氏 名	出 欠
株式会社フジイチ 代表取締役社長	石野 秀一	出席
茨城県森林組合連合会 代表理事専務	磯邊 晋吾	出席
協和木材株式会社 代表取締役社長	佐川 広興	出席
東京合板工業組合 業務統括室長	佐々木 祐子	出席 (web)
栃木県森林組合連合会 代表理事専務	佐橋 正美	出席
群馬県森林組合連合会 木材部 販売課長	田村 進	出席
福島県森林組合連合会 代表理事専務	丹治 俊宏	出席 (web)
株式会社堀江林業 代表取締役	堀江 賢一	欠席
茨城県県北農林事務所 林務部門長	村田 万里子	出席
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林業経営・政策研究領域 領域長	山本 伸幸	出席

○関東森林管理局

官 職	氏 名	出 欠
森林整備部長	増田 義昭	出席
資源活用課長	齋藤 一広	出席
東京事務所 副所長	川添 貢	出席
企画官(木材需給対策)	松坂 勝士	出席
技術指導官(木材供給担当)	藤嶋 学	出席
長期安定供給係長	齋藤 博	出席
素材供給係長	小柳 勝志	出席
供給計画係長	井上 祥吾	出席